

6がっひかりごう

令和 7 年6月1日 輝 保 育 園

晴れたり雨が降ったり、暑かったり、肌寒い日があったりと天気や気温の移り変わりが多いこの時期ですが、子どもたちは室内や戸外に関係なく、汗ばみながらも日々色々な遊びを楽しんでいます。気候の変化が大きい分、体への負担も大きくなります。栄養、休息を十分に取しながら、元気に過ごしていきましょう。

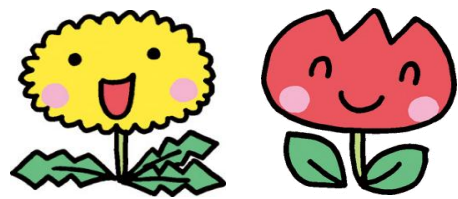
= カビに注意 =

カビが発生しやすい時期です。食事用エプロンのポケットの内側、水筒のパッキン部分など、普段より丁寧に洗い、清潔を保っていきましょう。



« 保育参観 »

今年度は、時間、対象クラス等変更して行う予定です。ご協力をお願いします。
0～2才は、こっそりと覗いていただきます。
3～5才は、保育室内で見いただけます。
6/23からの最初のグループのスタートです。
家庭での姿とは違う一面がみられるかもしれません。お楽しみに。



= 6 月の行事予定 =

06日（金） 避難訓練
20日（金） 誕生会・身体測定
23日（月）～27日（金）
0・1・2・4才児 保育参観
30日（月）～7月4日（金）
3・5才児 保育参観

=== ナース・レポート ===

【「りんご病」警報レベル 福岡県が感染対策呼びかけ】

5/22 KBC newsより抜粋
両頬に赤い発疹がでる伝染性紅斑、いわゆる「りんご病」が福岡県内で急増「警報レベル」に達したと発表し、感染対策を呼びかけています。福岡県によりますと5月18日までの1週間で報告されたりんご病の患者数は191人で、前の週と比べ2.22倍となりました。警報レベルになるのは2010年以来です。
両頬に赤い紅斑がでることから、「りんご病」と呼ばれる小児に多い感染症です。多くの場合、頬に紅斑が出現する7～10日くらい前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなりますが、紅斑が現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。
感染経路は飛沫感染で、妊娠中に感染すると流産のリスクとなる可能性もあります。感染対策としては、咳エチケットや手洗いなどの一般的な予防法です。
登園届が必要な疾患で、登園の目安は「全身状態がいいこと」になります。感染症の多くは、咳エチケット、手洗いで予防できます。日常的に感染対策をしっかり実施していきましょう。

《《《 お 願 い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起 をし、しっかり朝食を摂りましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

コミュニケーション（ほめ方）

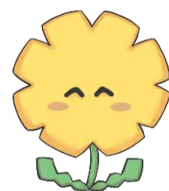
2. 子どものちょっとした伸びや良さを捉えてほめる
子どもの日々の成長を意識的に捉え、些細なことでも、大人の感覚で当たり前のことと捉えず、積極的にほめましょう。
例えば、大きな声で返事ができた、言われなくても約束の時間にテレビを切った、話を聞く時の姿勢が良くなった等、日常生活の中にはたくさんあります。
3. ほめる時は、どんなところが良かったのか具体的にほめる
例えば、運動会での子どもの様子を見て、「よくがんばったね！」とほめる方法もありますが、親はほめたつもりでも、子どもの側からすると漠然としていて、何が、どう良かったのかよくわからず、ほめられたと思わないケースにもなるようです。
ほめる時には、「ダンスの時の表情がとても素敵だったよ！」のように具体的にほめたほうが子どもの心に響きます。



「教育力向上福岡県民運動 ホームページ」より抜粋

こども達のようす

たんぼぐみ
0才児



すっかり園での生活にも慣れ、それぞれに好きな玩具や遊びが出来ました。 いろいろな玩具を手にした口にして感触、固さ、動かし方などを確かめると気に入ったおもちゃを探そうになりました。 お気に入りの玩具で遊ぶことも大好きですが遊び方にも個性が出ています。 玩具を打ち合わせてカンカンと音を出したり、丸い玩具を転がして追いかけたり、玩具が手から離れるとそれが楽しくて「ポイッ」を繰り返したり、遊びを発見することが楽しいようです。「ポイッ」の応用でお片付けも出来るようになってきました。 目まぐるしい成長を遂げるこの 0 歳児期。 探索意欲が更に増し、見るもの触れるもの全てが新鮮であらゆるものを手や口で確かめ目で見え感じ発見し、そしてそれを実践し経験することで感性を豊かにしています。

たんぼぐみ
1才児



天気が良い日は、たんぼぼ園庭に出て遊んでいます。 葉っぱを集めることが好きな子は、両手にたくさん葉っぱを持って保育者に嬉しそうに見せに来てくれたり、葉っぱのプレゼントを渡してくれます。 虫に興味がある子は、たんぼぼ園庭内を下を向いて歩きながら、ダンゴムシを見つけると、地面うつ伏せになり、ダンゴムシをより近くで観察したり、触ってみたりと興味津々です。 見る楽しさもありますが、ダンゴムシが近づいてくると、驚きもあり「キャー」と言い、逃げる姿も見られます。 日々遊んでいると、ダンゴムシがいる場所を覚え、壁の側面の下の方に真っ先に向かう子もいます。 これから、さらに暑くなる日が続いていきます。 水分補給もしっかり行いつつ、戸外活動ならではの様々な発見を子どもたちと一緒に共感していきながら、戸外遊びを楽しんでいます。

すみれぐみ
2才児



連休明けは、登園時や、活動の中で寂しさから泣き出す姿も見られましたが、最近は、好きな遊びを思い切り楽しむ姿が見られるようになり、子ども達も、すみれ組の生活にすっかり慣れてくれたようです。 また、休日の出来事や家族のことを「あのね・・・」と楽しそうに聞かせてくれます。 子ども達同士でも、簡単な言葉のやり取りを楽しんでいます。 先日、子ども達がたんぼぼ組から成長を見守ってきた園庭の卵から、カマキリの赤ちゃんが生まれました。 とても小さなカマキリに興味津々の子ども達は、目を丸くし覗き込んでいました。 虫にも命があること、踏みつぶしたりしないことなど、虫の扱い方を伝えていたので、この経験が、命の大切さや扱い方を学ぶきっかけになることを期待しています。

ちゅうりっぷぐみ
3才児



一日の流れを覚え、幼児室での生活にも慣れてきた子ども達。給食の時のお弁当包みも上手になってきました。「できない」と言っていた子たちもお弁当箱をくるくると包むことはできるようになったり、一人で包んで結び「できた！」と笑顔で見せてきたりする姿も増えてきました。 戸外では、友だちと砂場でケーキやご飯を見立てて作ったり、遊具でジャンケン遊びをしたり、年中・年長児に誘われて一緒に遊んだりする姿がみられます。 以前多くみられた三輪車の取り合いも少し減り、かわりに「後で貸してね」の声が聞かれるようになってきました。 6 月は天気や気温に応じて水遊びや泥んこ遊びをしたり、雨の日にレインコートを着て運動場を歩き晴れの日との違いに気づいたり、梅雨の時期の自然も感じられるような活動も取り入れていきます。

ばらぐみ
4才児



鬼ごっこをする際の「鬼決め」が人気です。 一人の子が「お・に・ぎ・め〜お・に・じゃ・な・い・よ」と一文字に対して一人の子を指差し「よ」で指された子から抜けていきます。 指差しする側には公平さを保つために「自制心」が求められますが、自分が鬼になりたい気持ちや鬼決めの中心になりたい気持ちなど自分の思いを押し通そうとする姿があり「ずるい！」と友達から指摘され「葛藤」を経験しています。 ここで生きてくるのが年少時期に感じ取ってきた友達と遊ぶ「喜びや楽しさ」です。 その感情が根っことなって自分の気持ちを調整し、最近では相手の気持ちを受け止める姿が見られるようになってきました。「自制心の形成」の始まりです。 今後も子ども達の気持ちに目をむけながら、葛藤を通し学びゆく姿を見守っていきます。

ひまわりぐみ
5才児



先日、プランターに夏野菜を植えました。 まずは遊びが優先ですが、気付いた子が水やりをしてくれ、それを見て気付いた子がまた水やりをしてくれます。 毎日よく野菜を観察しているので「大きくなったなあ」「少し枯れている」と少しの変化にも気づいています。 子ども達から水も愛情もたっぷりもらっている野菜を収穫するのが今からとても楽しみです。 また、先月から剣道教室が始まりました。 何をするにしても初めは慎重で緊張している姿がよく見られ、少しの間違いや失敗でも泣いてしまうことがあります。 これから得意なことをみんなに認められたり、苦手なことに挑戦する姿を認められたりし、嬉しい体験やきつい体験を通して心が成長することを期待しています。 6月からはいよいよ運動会へ向けて鼓隊に取り組んでいます。